

指定管理施設事業評価票(平成30年度分)

1. 施設所管課 観光経済 部 藤原観光 課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市上三依水生植物園		
	所在地	日光市上三依682番地		
指定管理者	名称	有限会社 山加園		
	代表者名	代表取締役 柏木 栄		
	住所	日光市柄倉736番地		
指定期間		平成28年4月1日	～	令和3年3月31日
選定方法		公募	評価実施年	5年間のうち3年目
施設設置目的		観光の振興を図り、地域の活性化を推進するとともに自然環境を保全し、及び育成することで人と自然との触れ合いの場を創出する。		
主な実施事業		日本の典型的な植物モデルの設置、公開及び解説事業 植物に関する資料の収集、保管および展示事業 その他管理運営に必要な事業		

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	来場者数	人	17,500	15,329	17,500	18,946	19,510	14,561				
b	事業実施回数	回	16	14	18	16	17	15				
c	研修会の参加率	回	1	1	1	1	1	1				
d												
e												

4. 指定管理業務にかかる収支状況 (単位:円)

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
収入計	A	12,853,260	14,694,220	12,770,330		
	指定管理料	5,770,000	5,770,000	5,770,000		
	利用料収入 C	6,144,260	7,757,190	5,921,310		
	自主事業収入	939,000	1,167,030	1,079,020		
	その他					
支出計		12,847,394	14,682,829	12,740,501		
指定事業費		11,573,082	12,847,046	11,238,603		
	内人件費 D	7,162,375	6,817,306	7,150,497		
	内外部委託費 E					
	自主事業費	1,274,312	1,835,783	1,501,898		
事業収支 A－B		5,866	11,391	29,829		
人件費率 D／B		55.75%	46.43%	56.12%		
外部委託比率 E／B		0.00%	0.00%	0.00%		

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	平成28年度に地域の観光施設では初めてライブカメラを設置し、知名度のアップに伴い集客増に繋がりました。また、園内の
	草花の獣害保護のために防獣装置設置等で植栽維持を徹底した結果、園内草花の種類と数の増加でサービスの向上に繋がりました。平成30年度にライブカメラを増設しホームページ訪問者数も増加しましたが、猛暑のために来園者数は減少となり今後の課題となりました

サービス改善の状況

お客様へのサービスの向上の観点から、他の植物園には無い環境の中でその独自性を生かした植物の導入、集客の方法を思考した結果、ほとんどの人が

利用するスマートフォン等からも利用できるライブカメラの増設を計画しています。また、園を代表する花の1種でもある「クリンソウ」の植栽環境改善として小川の増設を行い、花株の増数と品質の向上にも取り組みました。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価	
①サービスの 履行の 確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B	
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B	
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	A	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B	
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B	
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B	
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B	
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B	
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B	
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B	
管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B		
②サービスの 質の評価	施設管理	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B	
		協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	B	A	
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B	
	利用者対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B	
		緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	B	B	
		避難経路が適切に確保されている。	B	B	
	事業運営	総括	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	B	B
		維持管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
			事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。		B	B	
環境配慮	利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	A	A		
	言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B		
	事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B		
③安定性	事業運営	施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B	
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B	
	維持管理	仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B	
		協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B	
	広報活動	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B	
		事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A	
		要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A	
	苦情等対応	要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B	
利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。		B	B		
利用実績は、目標水準である。		B	B		
所見 (成果・課題等)	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B	
	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B	
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B	
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B	
総括		「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	B	
(指定管理者自己評価) 「知名度のアップが集客につながる」をテーマにホームページを主として日光市と共に上三依水生植物園を全国でも有数の植物園 (「グーグル・ヤフー検索エンジンでは開園期間はトップページの1番目に表示されます。」)を目標に取り組んでまいりました結果、南は 九州、北は北海道と少数ながらも徐々に浸透してきていると思われますが、新種の植付等まだまだ改善の余地はあり、今後の課題 とします。 (所管課評価) ・知名度アップや情報発信を積極的に行い、入園者数増加への取り組みが行われた。 ・入園者数が気象状況に影響されやすく、今後の課題となった、。					
前年度総合評価		B(良好)	総合評価	B(良好)	

※評価区分

評価基準	A(優良)	=	協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B(良好)	=	協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C(要改善)	=	一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良)	=	評価項目のうち、A判定が80%以上
	B(良好)	=	A、C以外
	C(要改善)	=	評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好)	=	A、C以外
	C(要改善)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。